

平成 27 年度日本小児腎不全学会評議員会議事録

日時：平成 27 年 11 月 26 日（木）11：00～12：00

場所：石川県加賀市山代温泉ゆのくに天祥

出席者（敬称略）：相川厚、芦田明、飯島一誠、上村治、大田敏之、香美祥二、賀本敏行、穴戸清一郎、白髪宏司、杉谷篤、力石辰也、野島道生、服部元史、藤枝幹也、藤澤正人、本田雅敬、森田研、柳原俊雄、渡井至彦、和田尚弘（以上 19 名、欠席 8 名のうち委任状 6 名）

第 37 回日本小児腎不全学会芦田明会長の挨拶につづき、以下のように各議題が討議された。

議題

(1) 会計報告・予算案

平成 26 年度の会計報告ならびに平成 27 年度の予算案が事務局より報告された。会計報告が適正なことが監事である相川厚評議員によって報告され、平成 26 年度の会計報告と平成 27 年度の予算案が了承された。

(2) 会員動向

平成 27 年 3 月 31 日現在の会員数は、正会員 515 名、名誉会長 2 名、名誉会員 16 名であると事務局より報告された。名誉会員の鎮目和夫先生（東京女子医科大学名誉教授）が平成 27 年 8 月 16 日にご逝去されることが報告され、黙祷を捧げた。会員数は少しずつ増加しているが、筆頭演者は会員である必要性を周知徹底させることが確認された。

(3) 名誉会員の推薦

都築一夫先生、吉川徳茂先生が名誉会員に推薦され、了承された。

(4) 次々期会長の選定

第 39 回会長（平成 29 年度）に香美祥二先生（徳島大学小児科学分野）が推薦され、了承された。

(5) 学会雑誌の件

従来の「二次抄録・査読なし」から「論文自主投稿・査読あり」へ編集方針を変更したが（昨年の評議員会で承認・総会で会員へ報告）、2015 年 7 月 31 日に無事に第 35 巻を発行することができたこと、これはひとえに、編集委員、評議員、会員の皆さまのご理解とご支援の賜であること、評議員や会員のご意見を伺いながら改善すべき事項を検討しながらさらに質の高い学会雑誌を目指したいと、服部元史編集委員長より報告された。

(6) 広告収入と学会雑誌作成費用の件

査読制度の導入により学会雑誌作成費用は高くなったため、広告収入の確保と会費徴収（筆頭著者と代表著者は会員であることが必要）に一層努力する旨が、事務局より報告された。

(7) 優秀演題の件

平成 24 年から始まった優秀演題賞への応募演題数が増加してことから、優秀演題賞の応募や選考に関する申し合わせ事項を明文化する必要性が確認され、芦田評議員（第 37 回会長）、渡井評議員（第 38 回会長）、香美評議員（第 39 回会長）、服部評議員（事務局長）の 4 名で試案を作成することになった。

(8) その他

昨今の社会情勢を鑑み、開催地や開催形式に関しては柔軟に対応する必要性が確認された。

(9) 次期会長の挨拶

第 38 回会長の渡井至彦先生より準備状況が報告された。

平成 28 年 10 月 27 日（木）～10 月 28 日（金）、長良川国際会議場（岐阜県）

日本小児腎不全学会事務局

議事録作成	服部元史	印
議事録署名	芦田明	印
	渡井至彦	印